

～小暑と大暑～ 今年の夏予想

7月の二十四節気は、南から梅雨が明け始める小暑（しょうしょ）と、暑さが最高になる大暑（たいしょ）です。

関東の今年の梅雨明けは、平年並みの7月21日前後との予想がでています。
では夏の暑さはどうでしょう。
気象庁の予想では、降水量は平年並みか多く、気温も平年並みだそうです。
昨年のような連続猛暑や酷暑とまではならないようで、少しホッとしますね。

この予想は、日本の夏の天候を大きく左右する、チベット高気圧、太平洋高気圧、オホーツク海高気圧のうち、太平洋高気圧の日本列島付近への張り出しが、平年並みの見込みのためです。

これはエルニーニョ現象が影響していると考えられますが、エルニーニョ現象とは、太平洋赤道域の日付変更線付近から南米沿岸にかけて海面水温が平年より高くなり、その状態が続く現象です。
すると、インド洋北部からフィリピンの東の対流活動が不活発になることから、太平洋高気圧は日本の南方で強くなり、太平洋高気圧の日本列島付近への張り出しに影響します。

またチベット高気圧は弱く、昨年の太平洋高気圧との二枚重ねの掛布団のようにはならないと予想されるため、平年並みの暑さの予想となるようです。

夏は体質改善の季節と言われます、熱中症に注意しながらたっぷり汗をかいてみましょう。

（次回号は～立秋と処暑～）

